



インタビューを終えて

### 両国側の感性と視野

森さんとは、大連に赴任してきた当初からのお付き合いで、公私ともに席を同じにすることが多かった。しかし、今回のインタビューで高校時代は北京の現地校で学んだことを初めて知った。

中国に溶け込んで思春期を送った森さん。外側から中国を見てきた私とは理解度が圧倒的に異なり、日中両国の側に立った深く広い感性と視野は、今の日中関係に最も求められる要素なのかもしれない。日本貿易振興機構の仕事は、森さんの天職と言えるだろう。

猪瀬 和道

「所得水準の向上に加えて消費スタイルも変化し、海外のモノやサービスを受け入れる人が確実に増えています」



日本貿易振興機構大連事務所が大連の消費市場についてまとめたビジネスガイドブック「大連スタイル」を発刊した。最新のマーケット情報を分かりやすくまとめたもので、大連の商圈や暮らしが分かりやすく紹介されている。その編集責任者となったのが森詩織さん。「大連スタイル」の狙いや現在の消費動向などについて聞いた。(関連記事 33 ページ)

は日本人学校、中学3年生から国際学校に通学していました。しかし、中国の文化、暮らしぶりを深く知りたいと思い、高校は現地校に入りました。生徒1000人の中で外国人は私1人。軽い気持ちで入ったのですが、はじめは黒板の例題や文章の書き写しも間に合わず、苦労しました。それでも、中国人の同級生にもまねながら楽しく高校生活を過ごし、親友もできました。中国で育ち、生かされてきたからこそ、今の私があるのだと思います。

それだけに森さんの中国に対する思いは深いことでしょう。

そうですね。高校生の時です。仕事で中国に戻ってきました。それには日本の大学で勉強して知識を身につけることが大切だと思っただけです。大学卒業後は、日本貿易振興機構に入り、念願の中国関係の部署に就くこともでき、仕事に充実

感を感じています。中国を理解する森さんから、中国マーケット進出を目指す日本企業へのメッセージをお願いします。

今

年は地下鉄の開通や新しい商業施設の登場で、改めて大連の市場が注目されようとしています。所得水準の向上に加えて、消費スタイルも変化しています。この2、3年は輸入食品店やビザショップ、カフェなどが急増しているように、海外のモノやサービスを受け入れる人が確実に増えています。こうした流れをビジネスチャンスと捉え、進出を考えると企業様も少なくありませんが、進出前には事業の可能性について、ぜひ慎重に検討いただければと思います。進出後に様々な問題に直面される企業様もいらっしゃいます。ジェトロでご相談も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

日本貿易振興機構大連事務所発行の「大連の消費市場」納結の「大連スタイル」(大連Style)。我们向编辑森诗织女士询问了制作「大連Style」的目的和消费动向等内容。

想在大連銷售商品、希望可以告诉我消费市场的情况、我们会像接待这样来咨询的访客。针对这些想要进军大連的日本企业、我们从去年11月就着手收集资料、希望制作一本通俗易懂的大連商务指南书。如果因此能助从日本远道而来的企业者们一臂之力的话、我们将倍感荣幸。